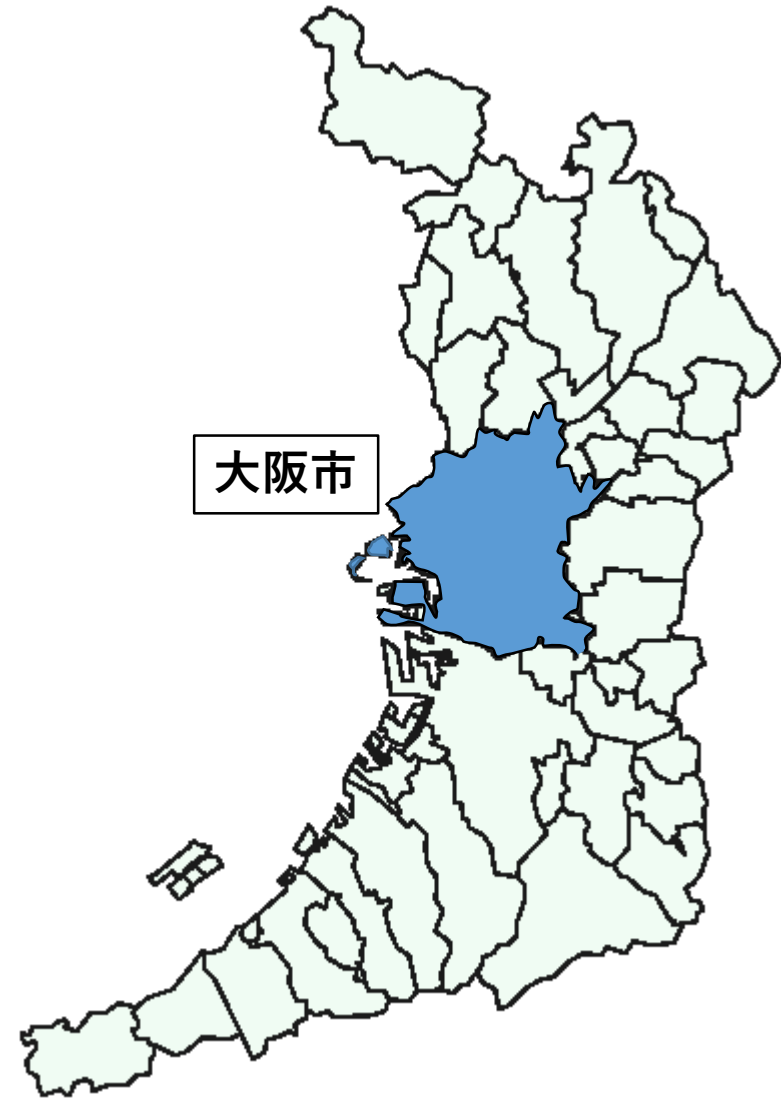


官民連携による 大阪市スポーツ施策の推進について

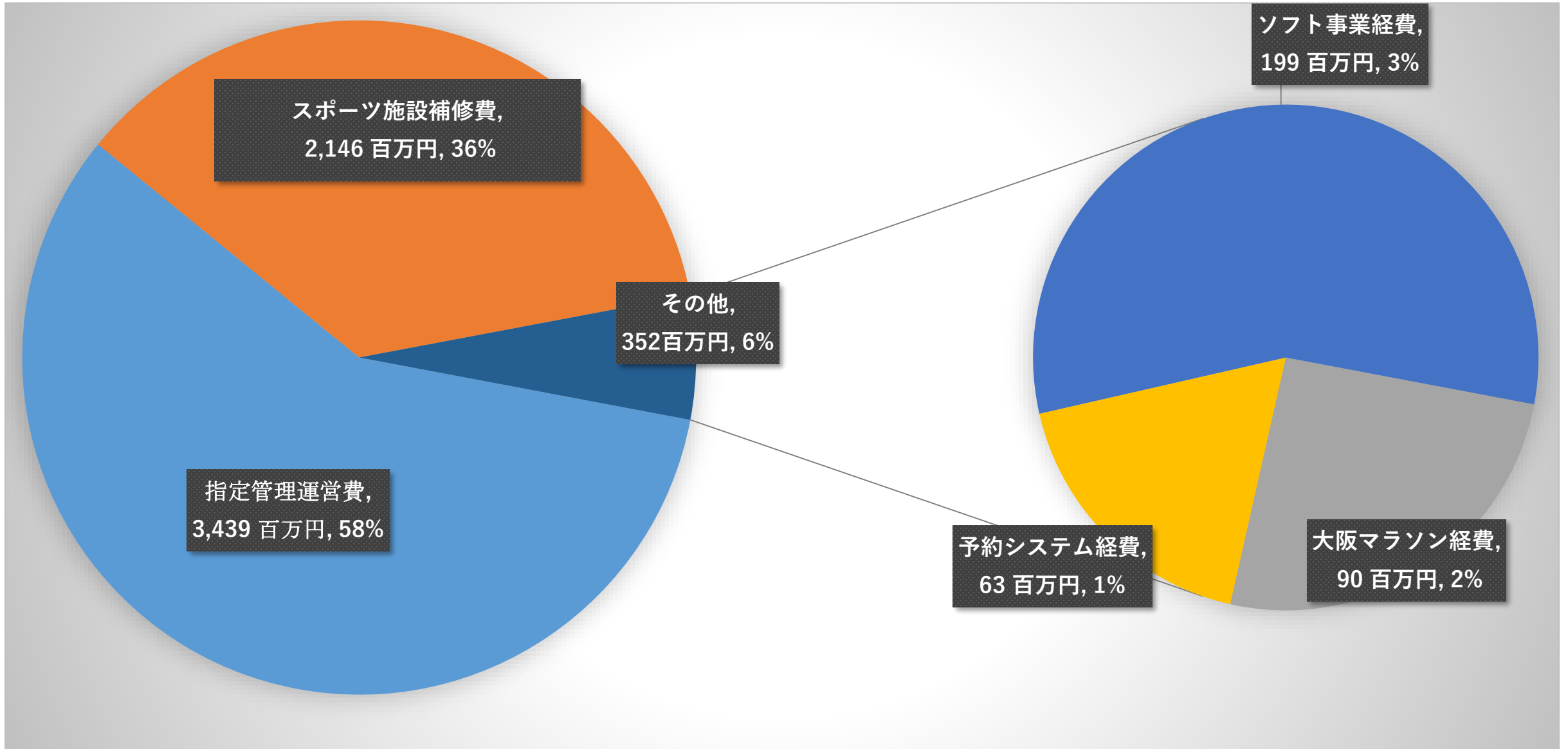
大阪市経済戦略局スポーツ部
スポーツ事業課長代理 榎木谷 達人

大阪市の概況	3
スポーツ予算の硬直化	4
官民連携	6
大阪市スポーツ施策でかかえる行政課題	7
官民連携の具体的事例	8
桜スタジアム構想	9
おおきにアリーナ舞洲	14
舞洲プロジェクト	15
スポーツ施策における官民連携事業	19
もっと官民連携できないか	23

- 人口 2,743,161人
(令和元年12月1日推計)
- 面積 225.30平方キロメートル
- 予算規模
 - 一般会計 1兆8,353億円
 - うちスポーツ費 59.4億円 (0.3%)
 - 特別会計 1兆7,375億円



スポーツ予算の硬直化



スポーツ費59.4億円うち施設維持管理経費以外の経費は3.5億円

⇒施設維持管理費に予算が集中しており、また、施設の老朽化に伴い、今後施設維持管理経費の増大が見込まれているなか、スポーツ機運醸成に向けた十分な事業費が確保できていない。

⇒限られた資源（人・施設・予算）の中で様々な工夫を凝らすことにより、限られた資源を超えて**スポーツ施策に注力**することを目指す。

その工夫の一つとして、官民連携を活用する。

・大阪市市政改革の柱「官民連携の推進」（大阪市市政改革プラン2.0より）

民間でできることは民間に委ね、官が果たすべき役割については市場原理が機能しない部分に限るなど、公共サービスの提供手法について改めて問い直すことが求められています。

官民の最適な役割分担のもと、官が担っている事業を民間が担うことにより、コスト削減とサービス向上が期待できるものは積極的に民間活力の活用を推進します。

民間活力の活用にあたっては、民営化（民間移管）、公共施設等運営権制度、委託化など官民が連携して公共サービスの提供を行うPPP手法の中から、事業の使命・目的の達成に最適な手法を選択し、見直し等に取り組んでいきます。

また、公共施設の整備等にあたっては、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して効率的で質の高い公共サービスの提供を行うPFI手法の活用などを促進します。

⇒大阪市が抱える行政課題につき、民間の力を借りて解決

- スポーツによる健康増進
- スポーツによる都市魅力の向上
- スポーツによる地域・経済活性化

大阪市が抱える行政課題を官民連携を活用して解決

- 桜スタジアム構想
⇒ スポーツによる都市魅力の向上・スポーツによる地域・経済活性化
- 舞洲アリーナ
⇒ スポーツによる都市魅力の向上・スポーツによる地域・経済活性化
- 舞洲を舞台とした官民連携事業
⇒ スポーツによる健康増進・スポーツによる都市魅力の向上・スポーツによる地域・経済活性化
- スポーツ施策における官民連携事業（指定管理事業・大規模公園施設のパークマネジメント事業・その他民間ノウハウを活用した維持管理事業）
⇒ スポーツによる健康増進・スポーツによる都市魅力の向上・スポーツによる地域・経済活性化

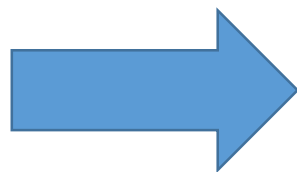


©2016桜スタジアム建設募金団体

- 法人・個人の募金等をもとに公金を支出しない、**既存施設の改修**
- 一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブに対し、30年間の指定管理者の指定を実施予定
- 30年間の**指定管理業務代行料は0円**
⇒クラブが稼ぎやすいよう、設計段階から創意工夫
- 負担付寄附として大阪市会の議決

	従来の指定管理	桜スタジアム
指定期間	5年間	30年間
まちづくり	大規模投資は望み難くまちづくりへの貢献は少ない	集客施設によるまちづくりへの貢献
大規模修繕費	大阪市が負担	新設部分につき指定管理者負担
広告収入	大阪市が許可収入	指定管理者が収入（条例改正）
ネーミングライツ	大阪市が収入	指定管理者が収入

改修内容



12月末時点の工事全景写真



募金状況

2019年12月1日現在

目標	6,600,000,000円
----	----------------

現在	2,505,746,040円
----	----------------

残り	4,094,253,960円
----	----------------

内訳	法人	2,328,124,680円
----	----	----------------

個人	177,621,360円
----	--------------

「ふるさと寄付金」として、税制上の優遇措置に完全対応!!

自己負担額2,000円で寄附が可能です。

ご協力よろしく申し上げます!

おおきにアリーナ舞洲（舞洲アリーナ）

- 指定管理による維持管理を実施していた施設
- 行政財産を普通財産へ変更したうえで、賃貸により貸し出し
- 施設運営の自由度が高まる一方、既存の大会等に配慮するため、賃貸借契約書において、一般利用の確保を明記
- 類似の事業スキームを取るものとして、
舞洲野球場・舞洲運動広場

	従来の指定管理	おおきにアリーナ舞洲
期間	5年間	10年間（建物賃貸借契約）
管理経費	118百万円の指定管理代行経費支出	9百万円の賃料収入
大規模修繕費	大阪市が負担	大阪市が負担
料金収入	指定管理者が収入	賃借人が収入
ネーミングライツ	導入実績なし	賃借人が収入
財産種別	行政財産	普通財産

before



after





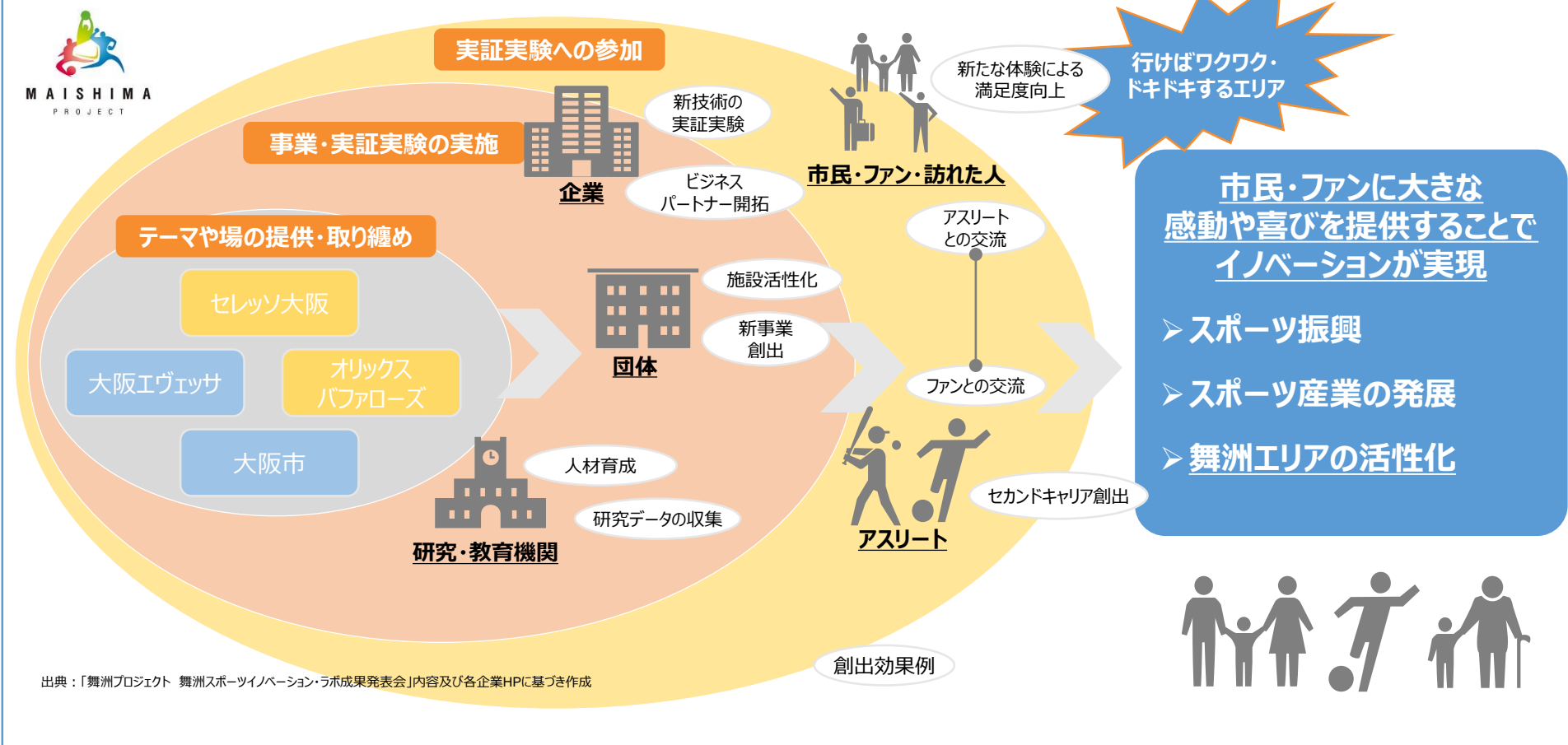
舞洲プロジェクト

◆ スポーツ産業の活性化に加え、**ファン・一般市民、企業等を巻き込み、舞洲エリア全体の活性化**を目指した取組

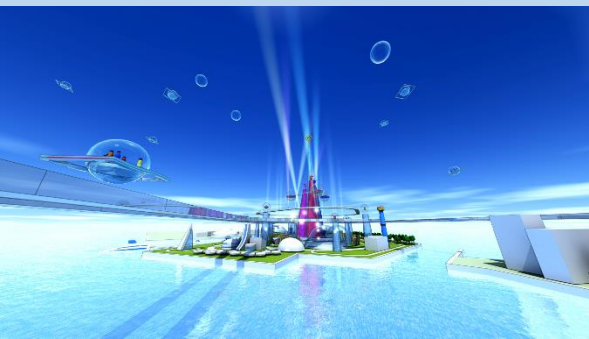
事例概要

- ▶ 大阪市と大阪エヴェッサ、オリックスバファローズ、セレッソ大阪が中心となり、スポーツ振興事業を実施
- ▶ **行けばワクワク・ドキドキするエリア**、プロスポーツ選手やトップアスリートとの距離が近いエリアへの生まれ変わりを目指す
- ▶ **ファン・市民が楽しめる**イベントの提供や人材育成等を通し、**スポーツ産業だけでなく、舞洲エリア全体の活性化**につなげる

舞洲プロジェクトのコンセプトイメージ



舞洲プロジェクト



- 指定管理事業

指定期間を原則5年間としつつ、可能な限り自由度を高める運営により、サービス向上及びコスト縮減を図る。

⇒ スポーツ教室の自主事業化

駐車場・売店・有料ロッカー・自動販売機の自主事業化

指定管理者による施設原状変更の積極承認（節水化・LED化など）



• パークマネジメント事業

大規模公園につき、公園一般園地及び公園内スポーツ施設等を含む公園全体を民間事業者に長期間に渡りマネジメントしてもらう事業

具体的には、大阪城公園や鶴見緑地など

長期間に渡る一体管理を行ってもらうことにより、民間事業者による戦略的な投資を呼び込む

大阪城公園



鶴見緑地



大公園（大阪市営公園）の魅力向上に向けたマーケットサウンディング（市場調査・令和元年8月実施）

市内の大公園（概ね10ha以上、地域の基幹となる公園）のうち、次の11公園を対象。

No	都市公園名	位置	開設面積 (㎡)
1	中之島公園	北区	105,933
2	扇町公園	北区	73,195
3	毛馬桜之宮公園	北区・都島区	334,532
4	鞆公園	西区	96,723
5	千島公園	大正区	111,970
6	中島公園	西淀川区	130,135
7	十三公園	淀川区	27,979
8	城北公園	旭区	95,207
9	南港中央公園	住之江区	208,820
10	真田山公園	天王寺区	54,119
11	正蓮寺川公園	福島区・此花区	35,993

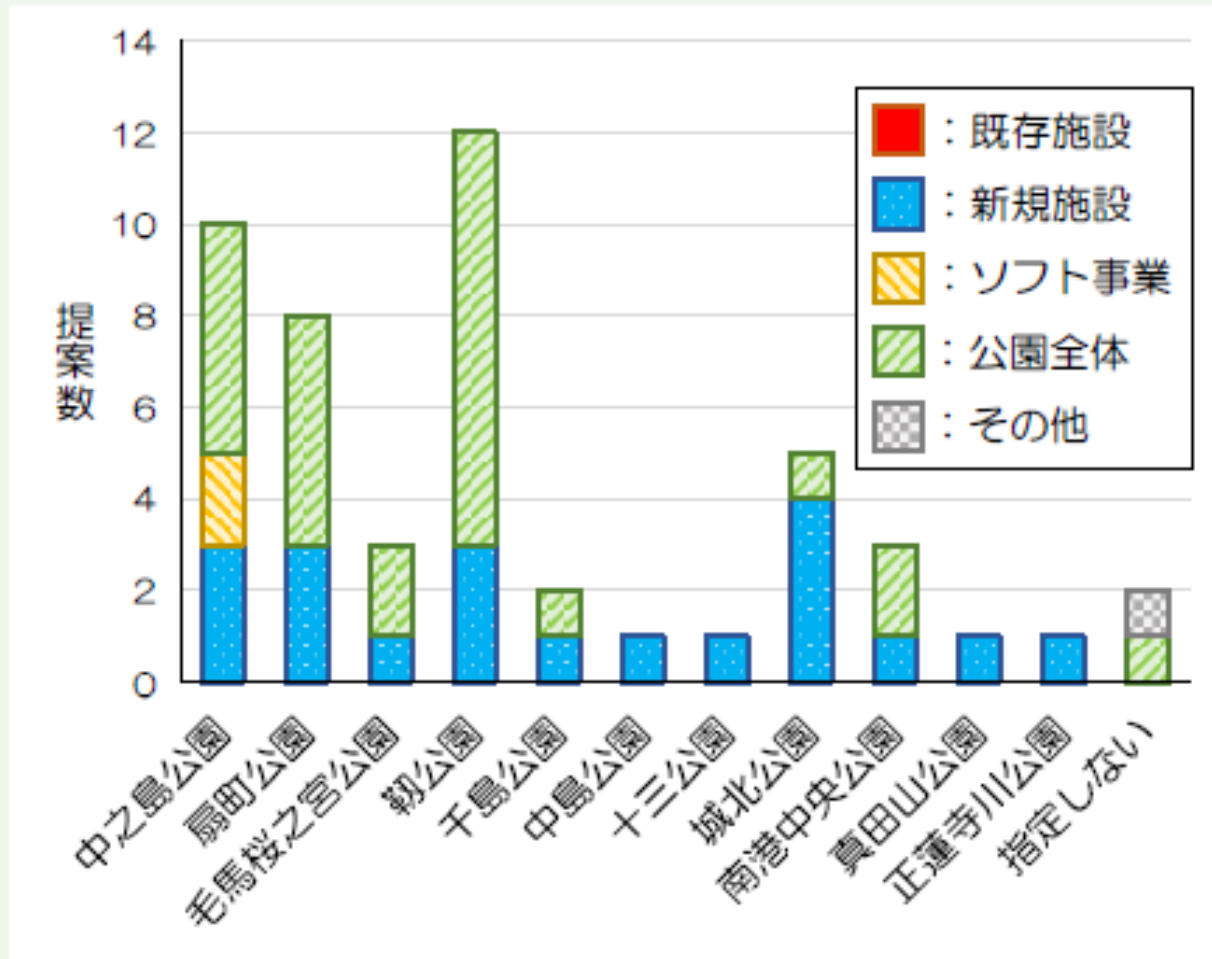


提案数

▶ 提案項目別の提案数

提案項目	略称	提案数
A. 既存施設の魅力向上に関する個別提案	既存施設	0
B. 新たに設置する公園施設の個別提案	新規施設	20
C. イベント等のソフト事業の個別提案	ソフト事業	2
D. AからCを総括的に展開し、公園全体の魅力向上を図る提案	公園全体	26
E. AからDのいずれにも該当しない提案	その他	1
合計		49

▶ 対象公園別の提案数



- 指定管理施設の運営…指定管理施設として多額の代行料を支出している
 - ⇒ **指定管理制度に替わる運営手法の提案・施設の買入賃借等の提案など**
- 設備・機器の更新…平成10年前後に建築された施設が多く、設備機器についても、更新時期を迎えているものが多数ある
 - ⇒ **ESCOやリース・レンタルなど、最新設備につき、イニシャルコストを抑えた改修の提案など**
- 施設データ管理…多数の施設の施設・設備・運営等の情報を一元管理することができていない
 - ⇒ **ICTを活用した新たな施設管理データベースの提案など**

課題を解決するために、

- 大阪市がやりたいこと
- 大阪市でやりたいこと
- 大阪市が困っていること
- 大阪市に求める規制緩和

色々な提案募集しています!!

大阪市経済戦略局スポーツ部
スポーツ課

担当：榎木谷・東

E-mail：ga0023@city.osaka.lg.jp